

# 雲南警察署速度取締指針

## 速度取締り指針とは

各警察署による交通事故実態等の分析結果に基づき策定した取締方針のうち、速度取締りなど重点的に交通街頭活動を実施する路線や時間帯等を県民の皆様と共有するため、警察署等の単位で明らかにするものです。

## 重点路線等における街頭活動の基本

- 速度取締りの実施（定置式、白バイ、可搬式オービスの活用）
- パトカーや白バイによるレッド走行の実施
- その他、交差点関連違反取締りなど交通事故に直結する違反の取締りを実施

## 交通事故実態等の分析結果



### 【過去 5 年間 (R 2 ~ R 6) の交通事故発生状況】

雲南警察署管内では人身事故は205件発生し、道路別では国道が85件（42%）、主要地方道が61件（30%）、県道が13件（6%）、市町村道が46件（22%）の割合で発生している。

発生件数が多い路線は、国道54号が52件、国道314号23件、主要地方道松江木次線、玉湯吾妻山線がそれぞれ20件と事故が多発している。

過去 5 年間で速度違反を伴う人身事故は25件発生し、道路別では国道が13件（52%）、主要地方道が 5 件（20%）、県道が 1 件（4 %）、市町村道が 6 件（24%）の割合で発生している。国道で発生した13件のうち、交通量の多い国道54号で6件（46%）、国道314号で5件（38%）と高い割合で発生している。主要地方道で発生した5件のうち、玉湯吾妻山線で3件発生している。速度違反を伴う人身事故が発生している時間帯は、国道、主要地方道で昼間及び薄暮の時間帯である。

### 【令和 7 年の交通事故発生状況（9 月末現在）】

交通死亡事故の発生はなく、人身事故は20件で前年比 - 5 件と減少傾向にある。道路別では国道で54号で8件（40%）、主要地方道松江木次線で2件（10%）、主要地方道横田多里線で2件（10%）発生している。人身事故の発生時間帯は、昼間17件（85%）と昼間に多く発生しており、特に12時から15時台に8件（40%）、15時台に3件（15%）と事故が多発している。

## 速度取締り重点対象路線

前記の交通実態の分析から、次に掲げる①から⑤の路線を重点対象路線として指定し、速度違反の取締りや赤色灯を点灯させての警ら活動等の街頭活動を強化します。

No.	路線名	規制速度	重点時間	指定理由
①	国道54号	50・法定	7～19	事故多発・通学路
②	国道314号	40・50・法定	7～19	事故多発・通学路
③	国道432号	40・50・法定	8～17	事故多発・通学路
④	主要地方道 松江木次線	40・50・法定	7～19	事故多発・通学路
⑤	主要地方道 玉湯吾妻山線	40・50・法定	7～19	事故多発・通学路



※ 実際の道路標識に定められた規制速度を確認し走行して下さい。

## 重点エリア

No.	エリア名等	重点対象違反	指定理由
①	木次町・三刀屋町の市街地	交差点関連違反	通勤・通学時間帯の交通量が多く、児童・生徒の交通事故を防ぐため。
②	加茂町・大東町の市街地	交差点関連違反	通勤・通学時間帯の交通量が多く、児童・生徒の交通事故を防ぐため。
③	掛合町の市街地	交差点関連違反	通勤・通学時間帯の交通量が多く、児童・生徒の交通事故を防ぐため。
④	吉田町の市街地	交差点関連違反	通勤・通学時間帯の交通量が多く、児童・生徒の交通事故を防ぐため。
⑤	JR三成駅周辺	交差点関連違反	通勤・通学時間帯の交通量が多く、児童・生徒の交通事故を防ぐため。
⑥	JR横田駅周辺	交差点関連違反	通勤・通学時間帯の交通量が多く、児童・生徒の交通事故を防ぐため。
⑦	飯南町頓原地区	交差点関連違反	通勤・通学時間帯の交通量が多く、児童・生徒の交通事故を防ぐため。
⑧	飯南町赤名地区	交差点関連違反	通勤・通学時間帯の交通量が多く、児童・生徒の交通事故を防ぐため。



※交差点関連違反とは、信号無視や一時停止、横断歩行者妨害違反です。

指定した路線・区域・交差点・時間帯など以外におきましても、ランダムな取締り等を実施します。交通事故を防止するため、表記された路線、時間帯以外におきましても、常に安全運転を心掛けていただきますようお願いします。